

資 料

- 1 . 北見市介護保険事業計画策定等委員会委員名簿
- 2 . 北見市介護保険事業計画策定等委員会設置要綱
- 3 . 実態調査結果
 - 1) 高齢者アンケート
 - 2) 要介護・要支援者アンケート
 - 3) 認知症実態調査
 - 4) 事業者アンケート

「医療的管理が必要な要介護者等の状況」
- 4 . 日常生活圏域地図

北見市介護保険事業計画策定等委員会委員名簿(運営推進協議会)

任期：平成18年6月13日から平成21年3月31日

	氏名	所属		選出区分
1	古屋 聖 兒	北見医師会会長	委員長	保健・医療 関係者
2	森 本 典 雄	北見医師会理事		
3	岡 田 一 哉	北見歯科医師会理事		
4	森 谷 俊 憲	北見薬剤師会理事		
5	谷 口 幸 子	北海道看護協会北網支部		
6	三 浦 道 子	北見地域介護支援専門員連絡協議会副代表		福祉関係者
7	佐 藤 壮 洋	日本社会福祉士会北海道支部 道東支部オホーツク連絡会		
8	加 藤 元 章	北見市社会福祉協議会会長	副委員長	
9	宮 村 稔	北見市民生委員児童委員協議会会長		
10	寺 山 正 吉	北見市老人クラブ連合会会長		
11	佐 藤 芳太郎	北見市心身障害者(児)団体連合会会長		
12	松 岡 清 子	北見市福祉の街づくり会議事務局長		
13	大 岩 満 雄	社会福祉法人きたの愛光会 施設長		サービス 事業者
14	武 田 富美子	日本赤十字北海道看護大学		学識経験者
15	茶 木 弘 子	北見市自治会連合会理事		
16	松 嶋 洋 一	連合北海道北見地区連合会副会長		
17	斉 藤 孝 司	被保険者・サービス利用者 北見自治区		一般公募
18	江 野 俊 一	被保険者・サービス利用者 端野自治区		
19	安 藤 憲 彦	被保険者・サービス利用者 常呂自治区		
20	長谷川 政 司	被保険者・サービス利用者 留辺蘂自治区		

北見市介護保険事業計画策定等委員会設置要綱

(設置)

第1条 北見市の介護保険等に関する事業等について、広く市民の意見を反映し、円滑かつ適切な運営に資することを目的として、北見市介護保険事業計画策定等委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 高齢者保健福祉計画及び介護保険計画の策定又は変更及び推進等に関する事項
- (2) 地域包括支援センターの設置並びにその運営及び評価等に関する事項
- (3) 地域密着型サービス事業所の指定並びにその運営及び評価等に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から市長が委嘱する。

- (1) 介護保険被保険者
- (2) 介護保険サービス利用者
- (3) 介護保険サービス事業者
- (4) 福祉関係者
- (5) 保健・医療関係者
- (6) 学識経験者

3 委員の任期は、平成18年6月13日から平成21年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長をそれぞれ1名ずつ置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 副委員長は、委員長の指名により定める。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員長は、過半数の委員の出席により会議を開催するよう努めなければならない。

3 委員会は、必要に応じ、有識者から意見を聴くことができる。

(守秘義務)

第6条 委員及び前条第3項の規定により出席した者は、正当な理由なく、会議の内容その他職務上知り得た情報を漏らしてはならない。また、委員は、その職を退いた後もまた同様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、保健福祉部介護福祉課において行う。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、その都度別に定める。

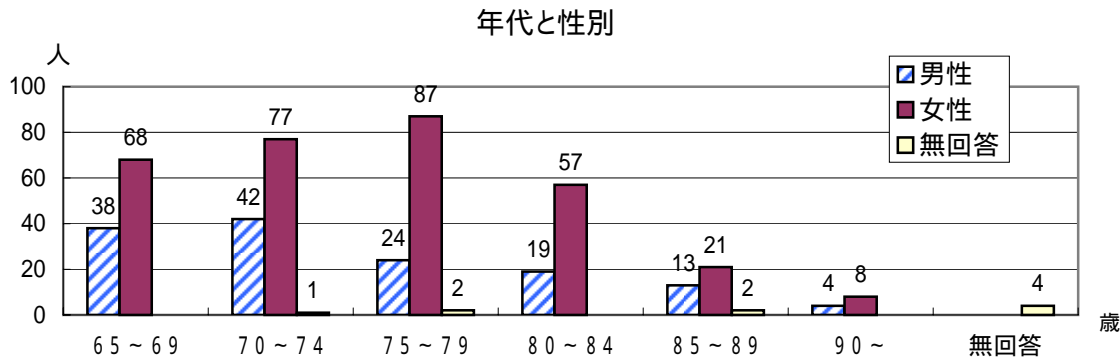
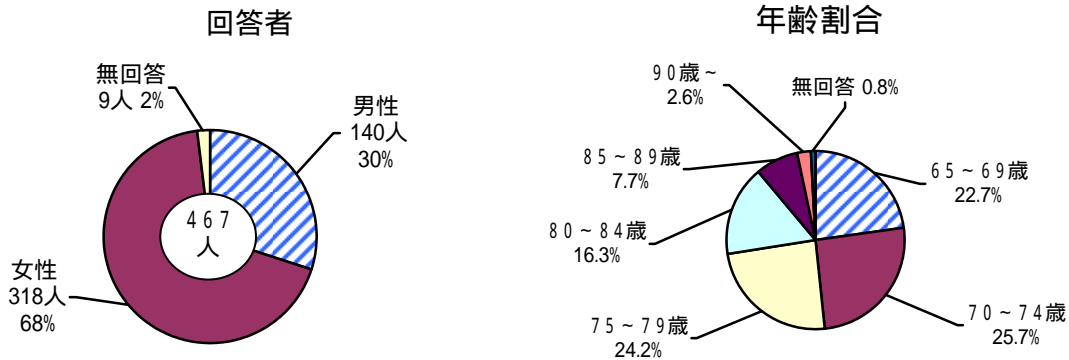
附則

この要綱は、平成18年4月27日から施行する。

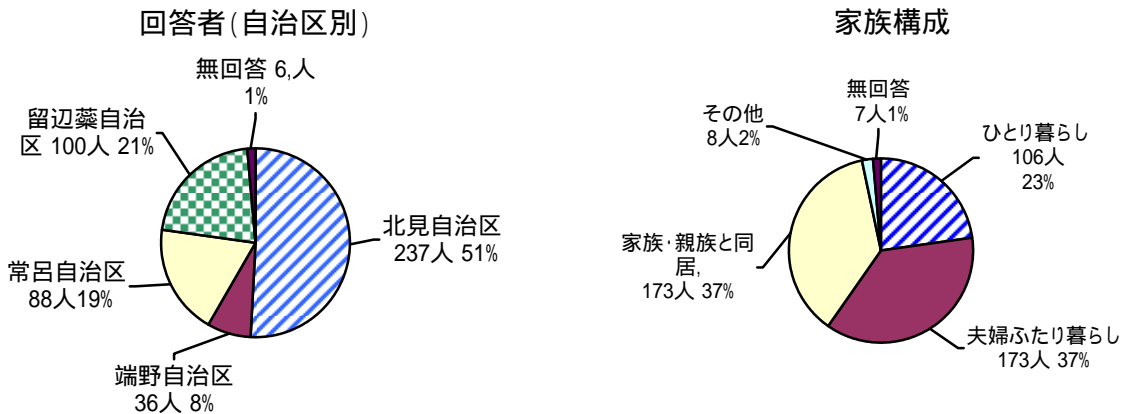
『高齢者アンケート調査結果』

1. 調査概要

- 1) 調査対象 介護認定を受けていない65歳以上高齢者 833人
 (北見585人、端野50人、常呂94人、留辺蘂104人)
 高齢者クラブ、生きがいサービス、老人大学、介護予防教室等の参加者他
 (平成20年8月末現在 65歳以上30,114人 - 認定者4,685人 = 対象 25,429人)
- 2) 回答数 467人(回答率 56.1%)
- 3) 調査期間 平成20年9月3日～9月30日
- 4) 調査方法 配布:調査用紙を直接配布又は郵送
 回収:その場で回収又は封筒にて郵送返信



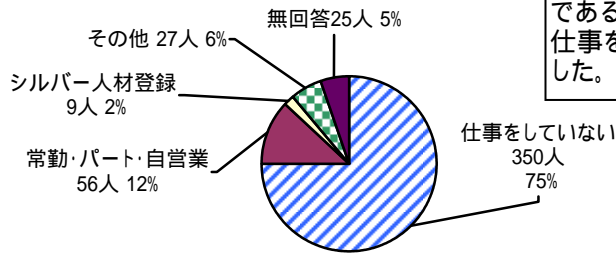
・一般高齢者アンケート回答者は467人、男性が140人30.0%、女性が318人68.1%でした。
 ・年齢は、70～79歳が233人で全体の5割を占めています。



・回答者の自治区別割合は、北見自治区が5割、常呂・留辺蘂自治区が2割ずつ、端野自治区が約1割であった。

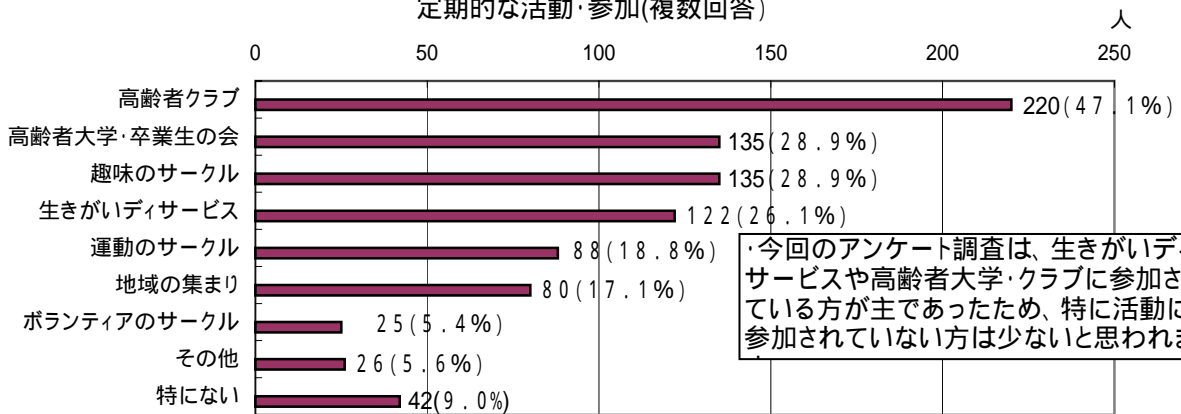
・家族構成は、夫婦ふたり暮らし、家族・親族と同居がともに37%、ひとり暮らしが23%であった。

仕事の状況



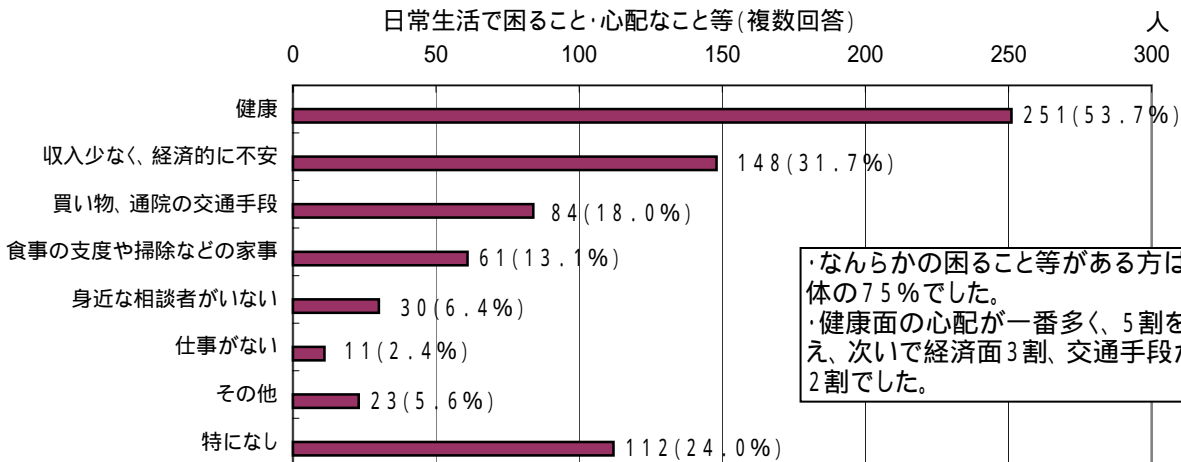
・仕事をしていない方が75%と大半であるが、常勤・パート等で何らかの仕事をしている方は、56人12%でした。

定期的な活動・参加(複数回答)



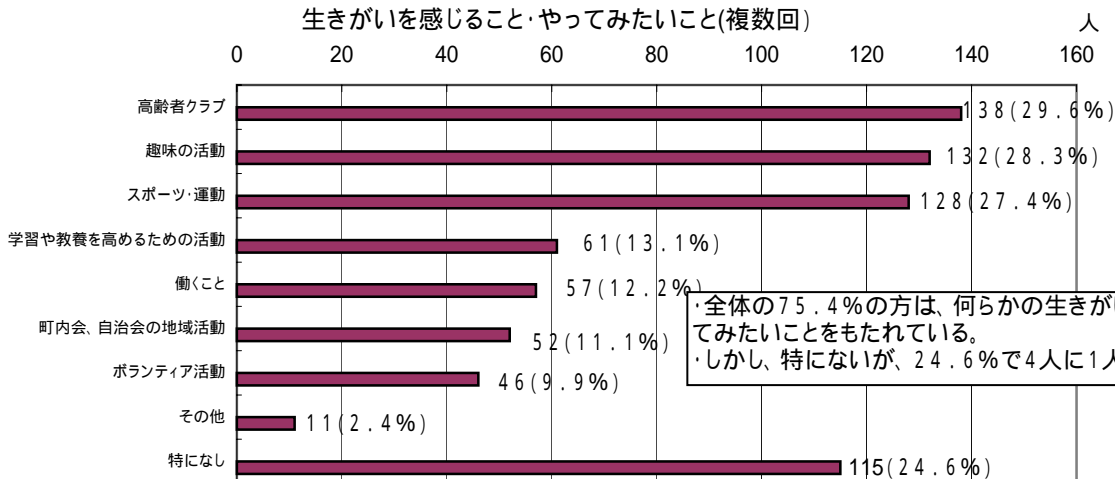
・今回のアンケート調査は、生きがいサービスや高齢者大学・クラブに参加されている方が主であったため、特に活動に参加されていない方は少ないと思われる。

日常生活で困ること・心配なこと等(複数回答)

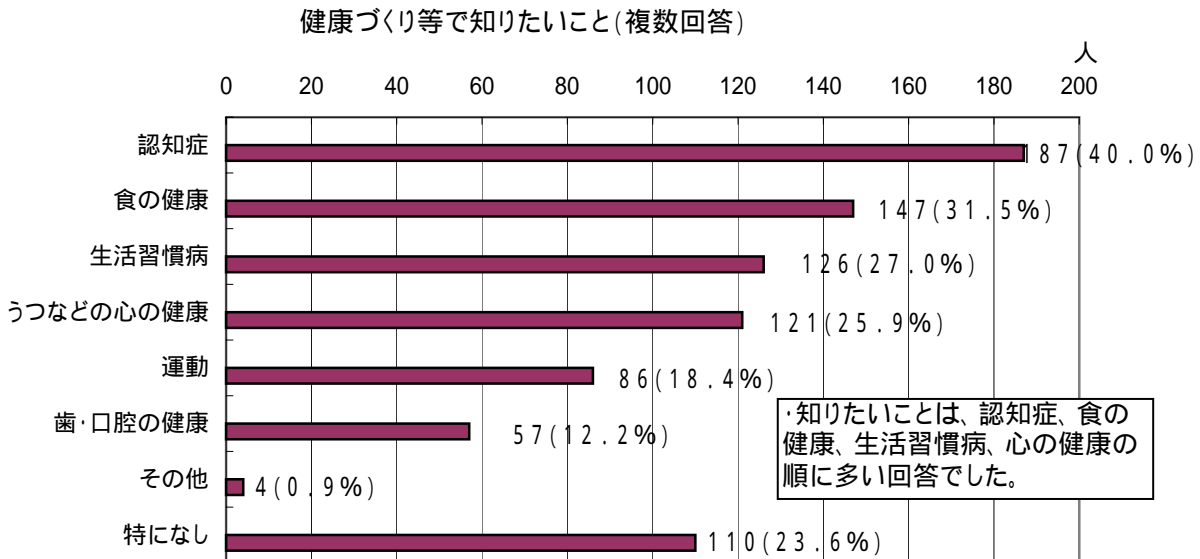
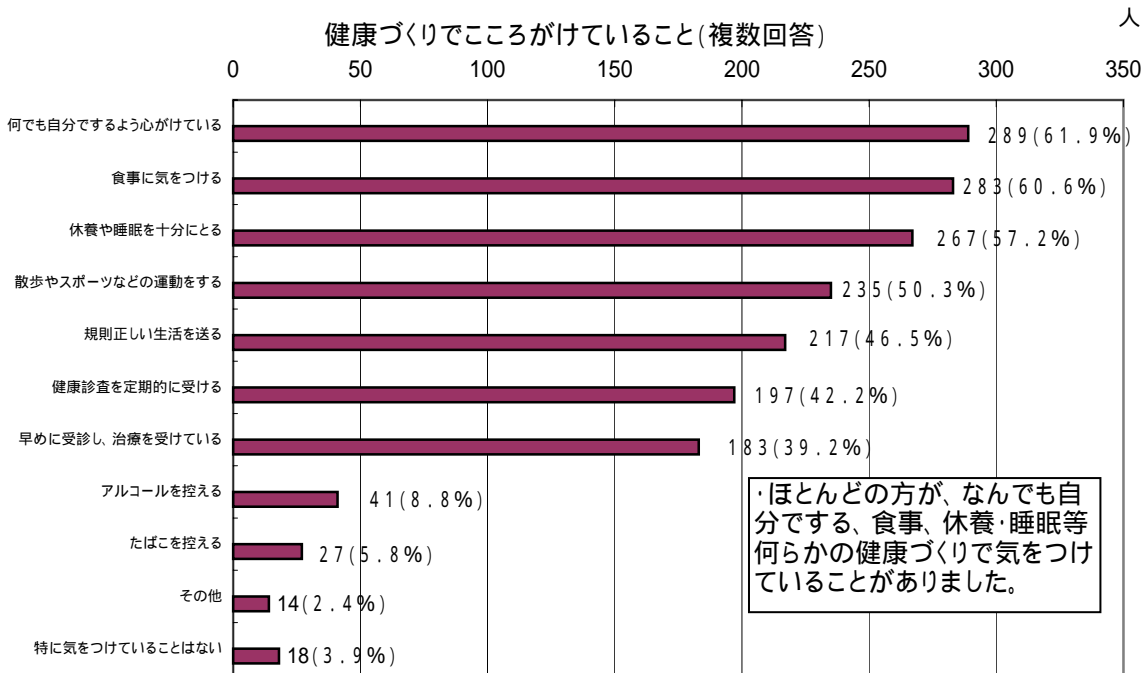


・なんらかの困ること等がある方は、全体の75%でした。
・健康面の心配が一番多く、5割を超え、次いで経済面3割、交通手段が約2割でした。

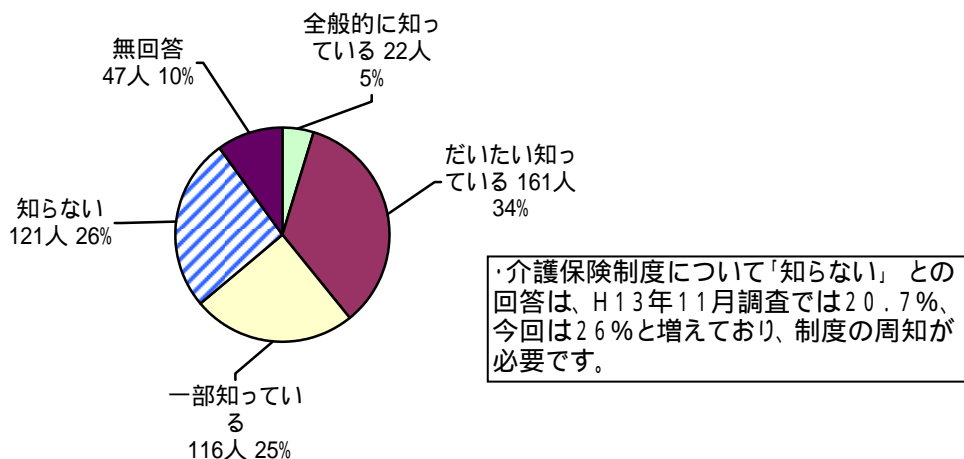
生きがいを感じる・やってみよう(複数回答)



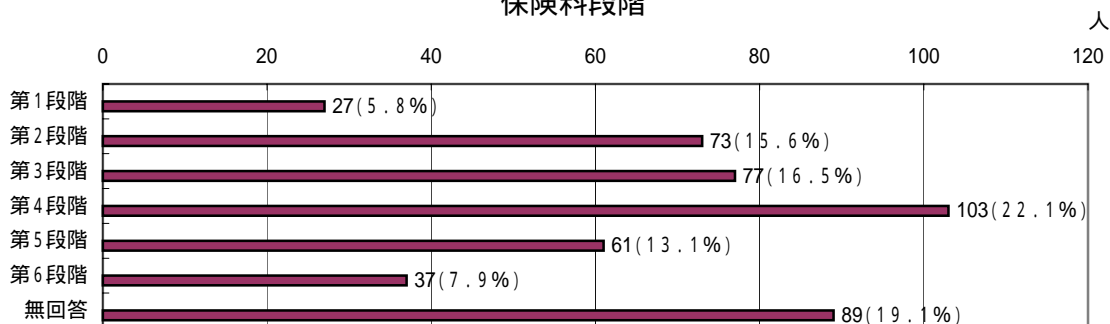
・全体の75.4%の方は、何らかの生きがいややってみようことをもたれている。
・しかし、特になしが、24.6%で4人に1人います。



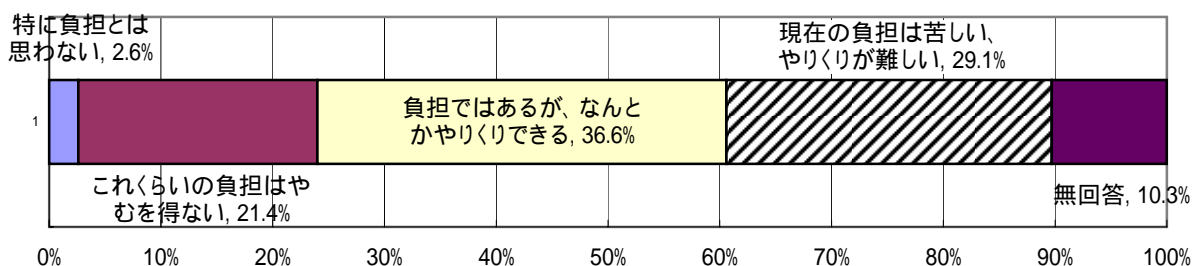
介護保険制度の理解



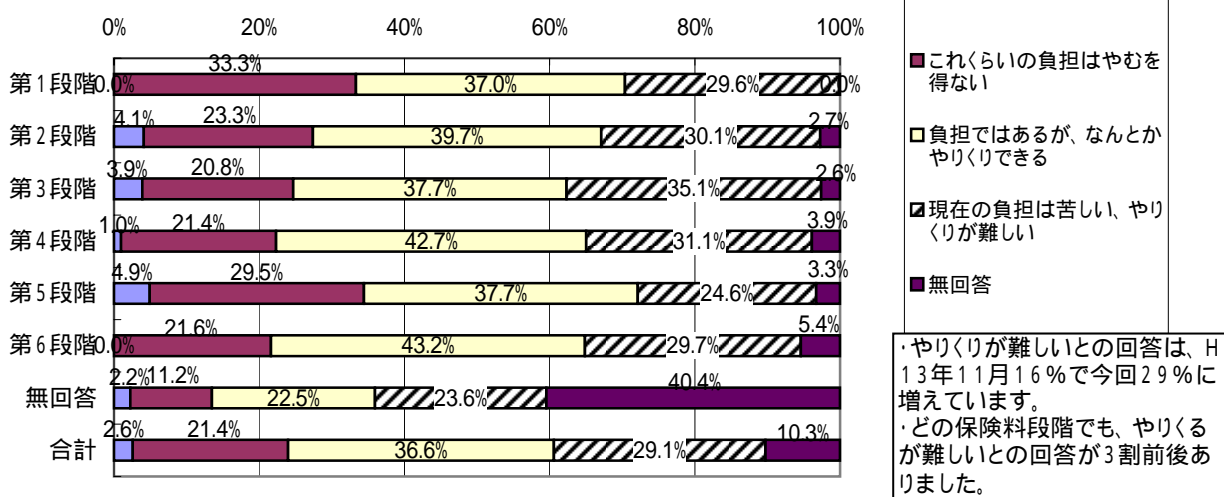
保険料段階



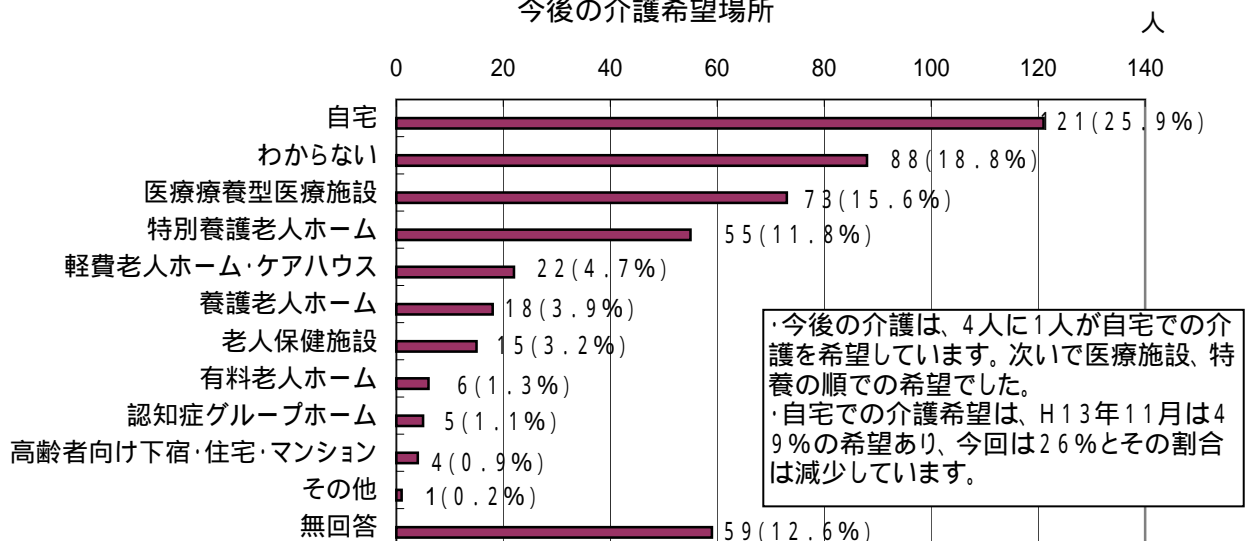
保険料の負担感



保険料段階と負担感



今後の介護希望場所



65歳以上の皆様

介護保険・高齢者保健福祉に関する調査票

以下の設問について、当てはまるものをつけてください。

調査票に回答される方について、おたずねします。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(該当するところに を)

1. 本人
2. 代理 家族・その他

あなたのことをおたずねします。

問2 あなたの性別は。(どちらかに を)

1. 男性
2. 女性

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(一つに を。平成20年9月1日現在)

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90歳以上

問4 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(一つに を)

1. ひとり暮らし
2. 夫婦ふたり暮らし
3. 家族・親族と同居
4. その他()

問5 住んでいる地域はどこになりますか。(一つに を)

1. 北見自治区
2. 端野自治区
3. 常呂自治区
4. 留辺蘂自治区

日頃の生活について、おたずねします。

問6 あなたは現在仕事をされていますか。(一つに を)

1. 仕事をしていない
2. 常勤で働いている
3. パート・アルバイト
4. 自営業
5. シルバー人材センター登録
6. その他()

問7 定期的に活動・参加されていることは、ありますか。(いくつでも を)

1. 高齢者クラブ
2. 高齢者大学又は卒業生の会
3. 趣味のサークル
4. 運動のサークル
5. ボランティアのサークル
6. 地域の集まり
7. 生きがいディサービス
8. その他()
9. 特にない

問8 日常生活で心配なことや不安を感じていることは何ですか。(いくつでも を)

1. 健康について不安である
2. 仕事がない
3. 収入が少なく、経済的に不安
4. 食事の支度や掃除などの家事
5. 買い物、通院などの交通手段
6. 身近に相談できる人がいない
7. その他(具体的に:)
8. 特にない

生きがいづくりについて、おたずねします。

問9 生きがいを感じることで、今後やってみたいことはどんなことですか。

(いくつでも を)

1. 働くこと
2. 学習や教養を高めるための活動
(例えば:)
3. スポーツ・運動
(例えば:)
4. 趣味の活動
(例えば:)
5. ボランティア活動
(例えば:)
6. 高齢者クラブ
7. 町内会、自治会の地域活動
8. その他(例えば:)
9. 特にない

健康づくり・介護予防について、おたずねします。

問10 あなたは現在、健康づくりのため、何か心がけていることはありますか。

(いくつでも を)

1. 休養や睡眠を十分とる
2. 規則正しい生活を送る
3. 食事に気をつける
4. 散歩やスポーツなどの運動をする
5. たばこを控える
6. アルコールを控える
7. 健康診査を定期的にする
8. 早めに受診し、治療を受けている
9. 何でも自分でできるよう心がけている
10. その他(例えば:)
11. 特に気をつけていることはない

= 裏面もあります =

問11 あなたは健康づくりや介護予防などについて、知りたいことがありますか。

(いくつでも を)

1. 高血圧や糖尿病などの生活習慣病について
2. 運動について
3. 歯・口腔の健康について
4. 食の健康について
5. 認知症について
6. うつなど心の健康について
7. その他(例えば:)
8. 特になし

介護保険制度について、おたずねします。

問12 介護保険制度の内容を知っていますか。(一つに を)

1. 全般的に知っている
2. だいたい知っている
3. 一部知っている
4. 知らない

問13 介護保険料は、所得に応じ6段階の保険料となっていますが、あなたの介護保険料段階は、どれになりますか。(一つに を)

【年額保険料】

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
該当に を						
北見	20,000円	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円
端野	17,100円	17,100円	25,700円	34,300円	42,800円	51,400円
常呂	23,900円	23,900円	35,900円	47,900円	59,800円	71,800円
留辺蘂	17,700円	17,700円	26,600円	35,500円	44,300円	53,200円

問14 あなたの介護保険料について、どう思いますか。(一つに を)

1. 特に負担とは思わない
2. みんなで支える制度のため、これくらいの負担はやむをえないと思う
3. 負担であるが、なんとかやりくりできる
4. 現在の負担は苦しい、やりくりが難しい

介護について、おたずねします。

問15 介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。

(一つに を)

1. 自宅
2. 特別養護老人ホーム
3. 老人保健施設
4. 医療療養型医療施設
5. 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)
6. 養護老人ホーム
7. 軽費老人ホーム・ケアハウス(介護利用型軽費老人ホーム)
8. 高齢者向け下宿・住宅・マンション
9. 有料老人ホーム
10. その他()
11. わからない

問16 一般的に高齢者の方を在宅で介護していくためにどんなことが必要だと思いますか。

高齢者福祉サービスについて、おたずねします。

問17 高齢者福祉サービスについて、ご希望・ご要望等をご自由にお書きください。

(同封の北見市の高齢者福祉サービスのパンフレットをご覧ください。)

問18 北見市の介護保険・高齢者の保健福祉に関して、ご希望・ご要望等をご自由にお書きください。

~ご協力ありがとうございました~

回答が終わりましたら、9月30日までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼ら

ずに郵便ポストに投函をお願いします。

~北見市介護福祉課~

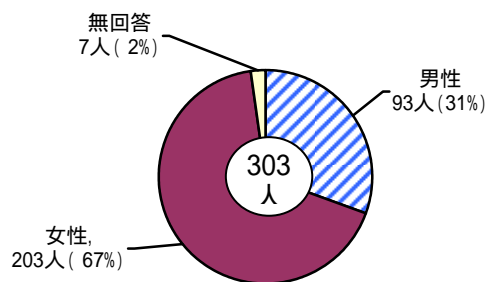
『要介護・要支援者アンケート調査結果』

1. 調査概要

- 1) 調査対象 平成20年7月末現在で認定を受けている在宅受給者2,531人から無作為抽出した504人(対象数の2割)北見431人、端野20人、常呂20人、留辺蘂33人
- 2) 回答数 303人(回答率 60.1%)
- 3) 調査期間 平成20年9月3日～9月30日
- 4) 調査方法 調査用紙を郵送し、封筒にて郵送返信

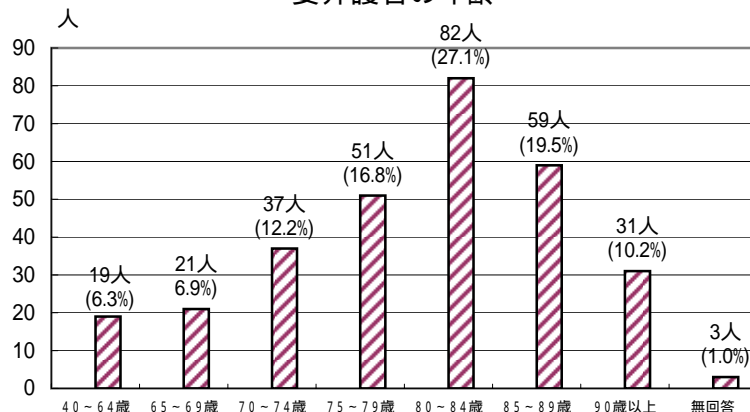
2. 調査結果

要介護者の性別



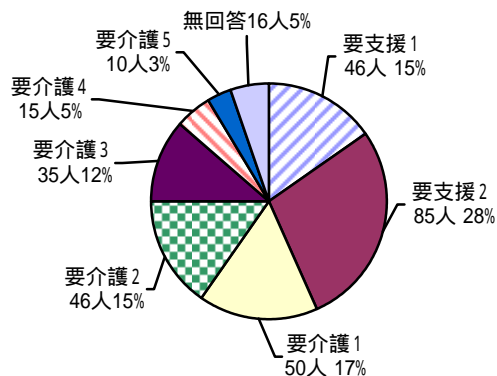
・本調査に回答いただいたのは303人で、男性が93人(31%)女性が203人(67%)でした。

要介護者の年齢



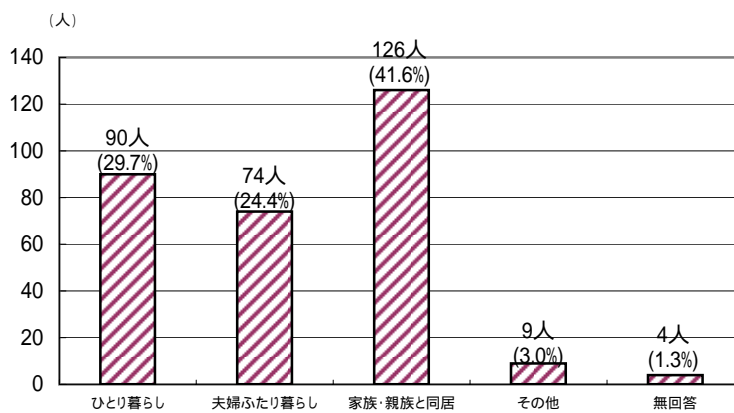
・年齢は70歳以上の方が206人(68%)で、うち80歳以上の方が172人(56.8%)と半数以上を占めていました。

要介護者の介護度



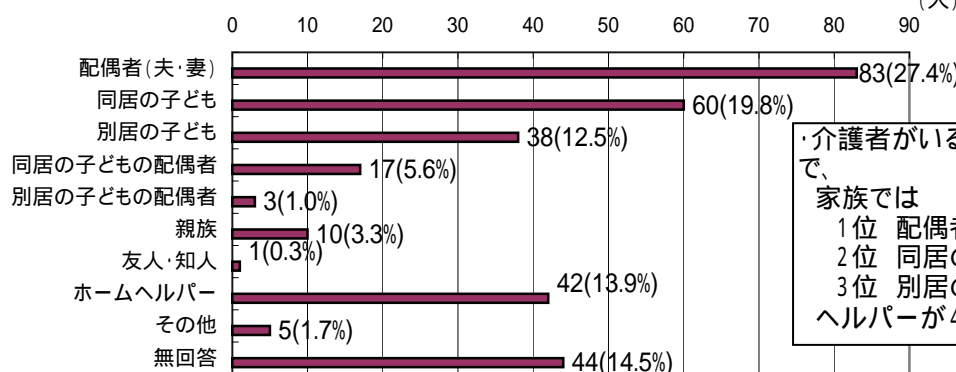
・要支援認定者が131人(43%)、要介護認定者が156人(52%)で、要支援2の方が一番多い回答でした。

家族構成



・家族構成は家族等と同居が126人(41.6%)が一番多く、次いでひとり暮らしが90人(29.7%)、夫婦ふたり暮らし74人(24.4%)でした。

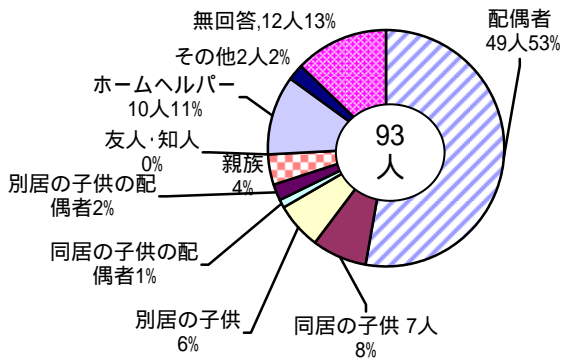
介護者



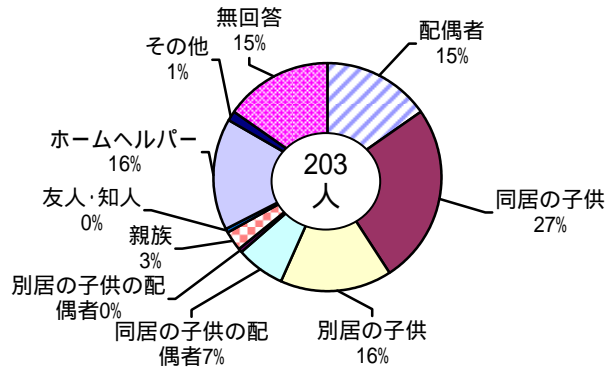
・介護者がいる方との回答は、全体の81.5%で、家族では
1位 配偶者 83人27.4%
2位 同居の子供 60人19.8%
3位 別居の子供 38人12.5% の順で、ヘルパーが42人13.9%でした。

男女別要介護者と介護者の関係

A: 男性の要介護者を介護している方

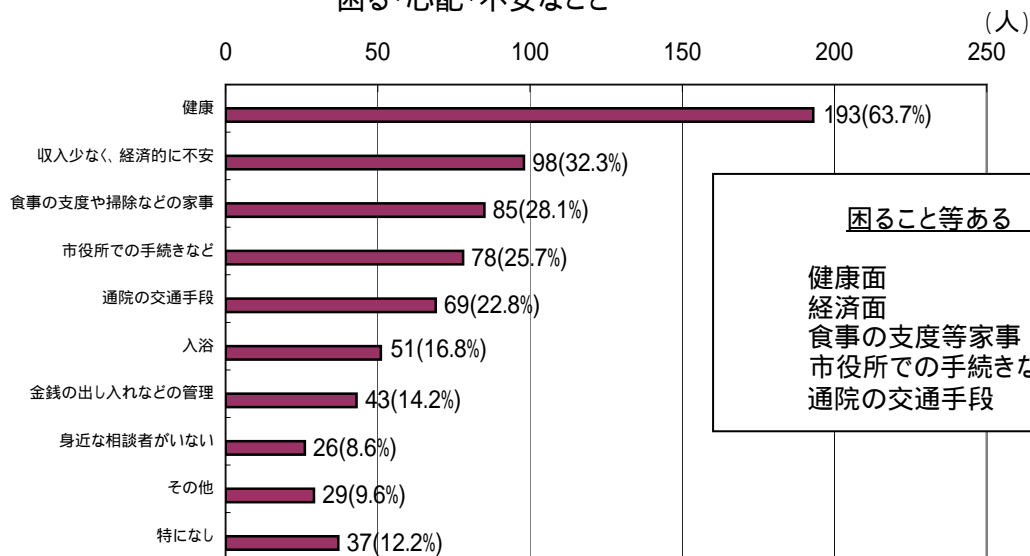


B: 女性の要介護者を介護している方



・男性の要介護者を介護しているのは、配偶者の妻が一番多く半数を超えています。
 ・女性の要介護者を介護しているのは、同居の子供が27%、次いで別居の子供とヘルパーが同じく16%でした。

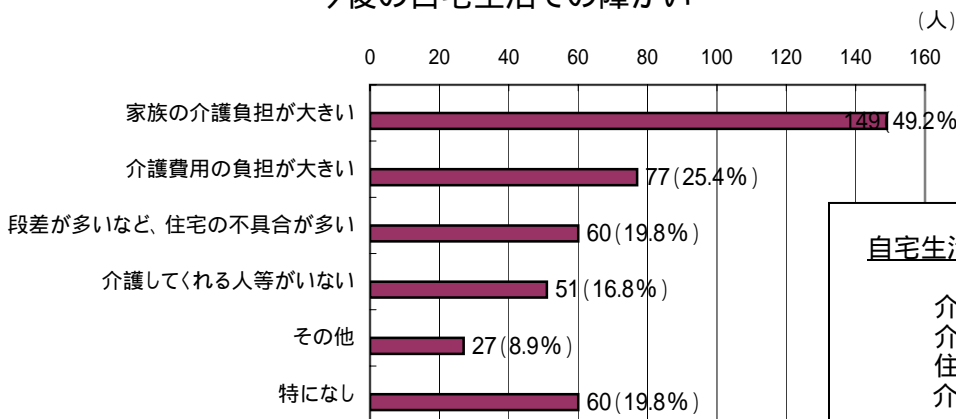
困る・心配・不安なこと



困ること等ある 87.8%

健康面	63.7%
経済面	32.3%
食事の支度等家事	28.1%
市役所での手続きなど	25.7%
通院の交通手段	22.8%

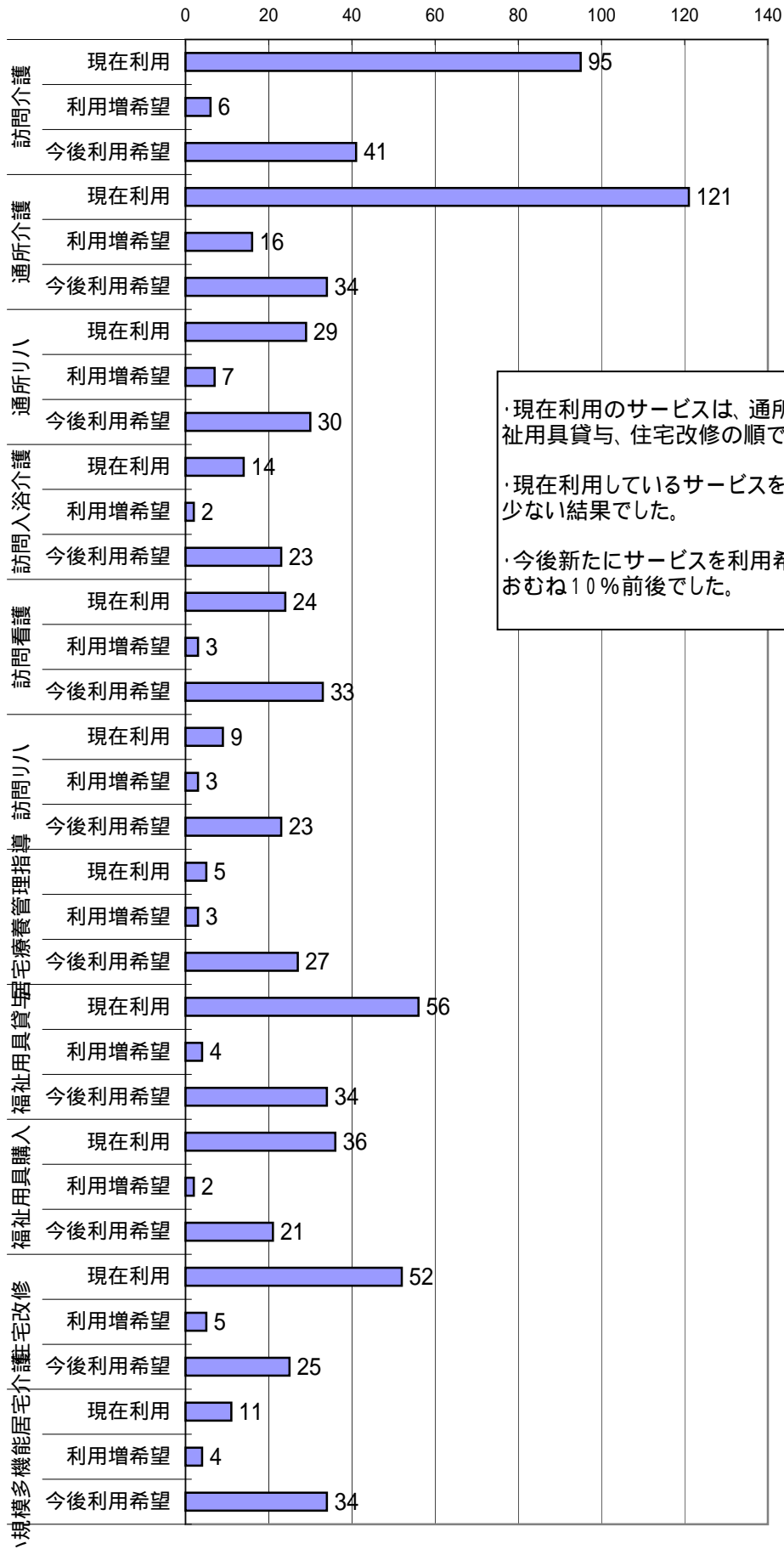
今後の自宅生活での障がい



自宅生活での障がいがある 80.2%

介護負担	49.2%
介護費用	25.4%
住宅の不具合	19.8%
介護者がいない	16.8%

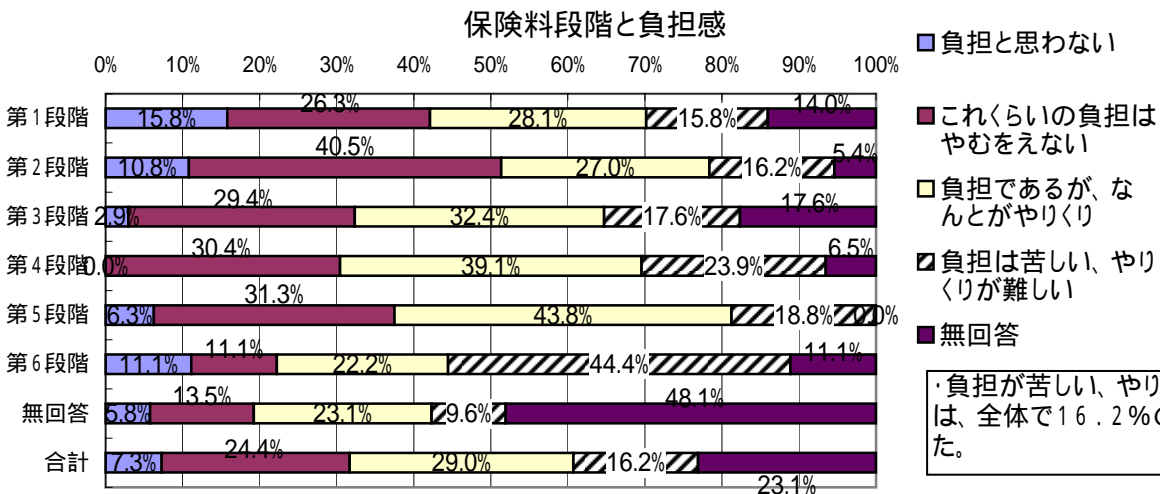
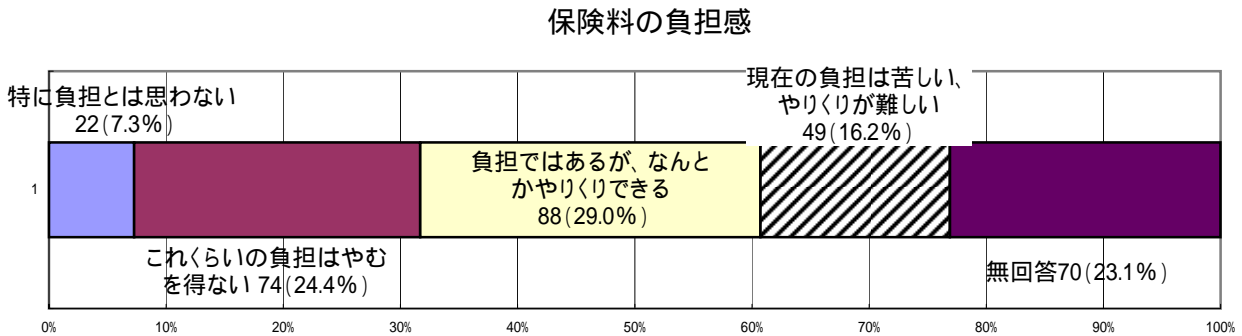
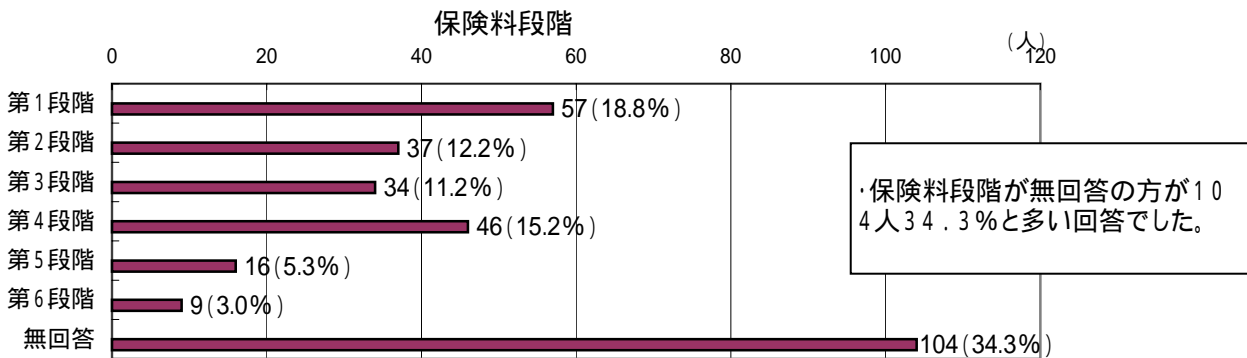
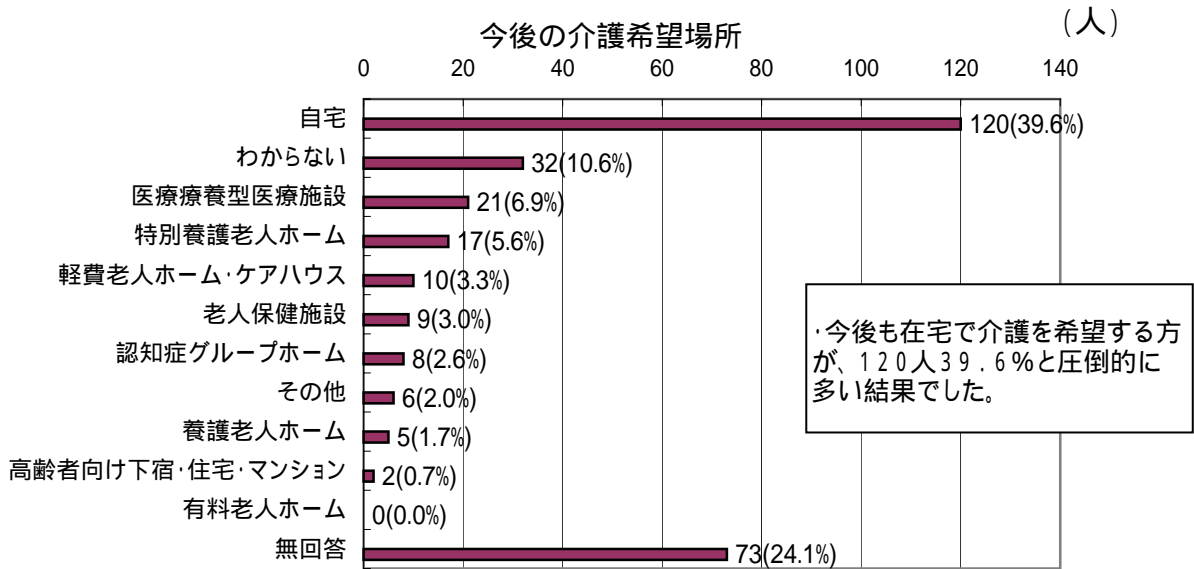
サービス利用状況と今後の希望



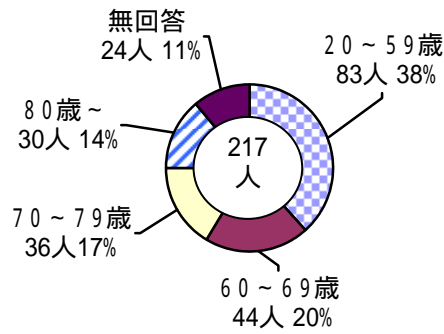
・現在利用のサービスは、通所介護、訪問介護、福祉用具貸与、住宅改修の順で多い回答でした。

・現在利用しているサービスを増やす希望の方は少ない結果でした。

・今後新たにサービスを利用希望する割合は、おおむね10%前後でした。



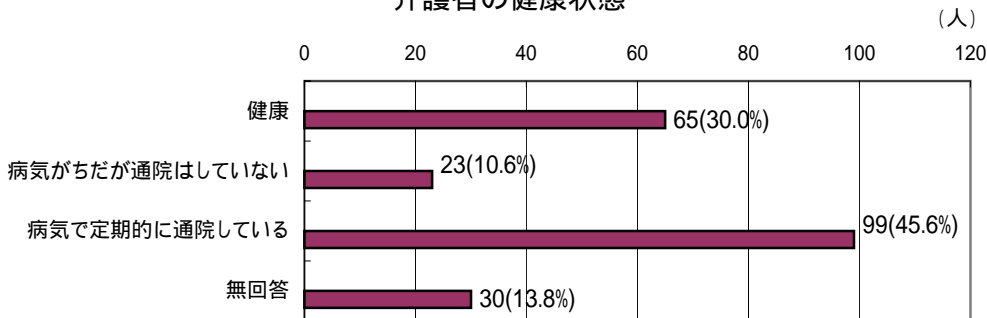
家族等介護者の年齢



・60歳以上の介護者は217人中110人51%と半数を占めていました。

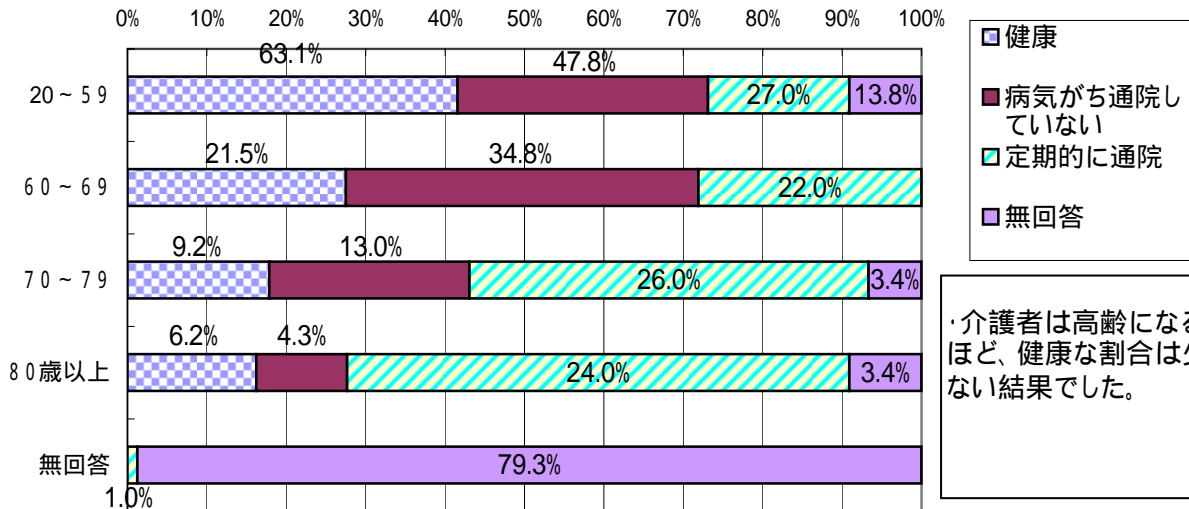
・また、70歳以上の介護者も66人と高齢の介護者が31%いることがわかりました。

介護者の健康状態

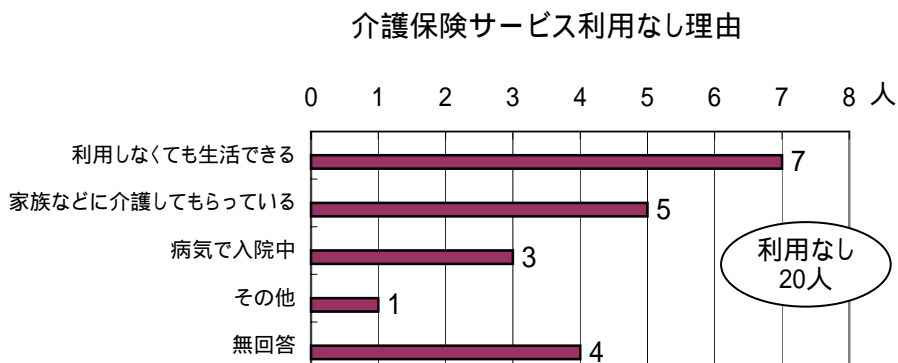
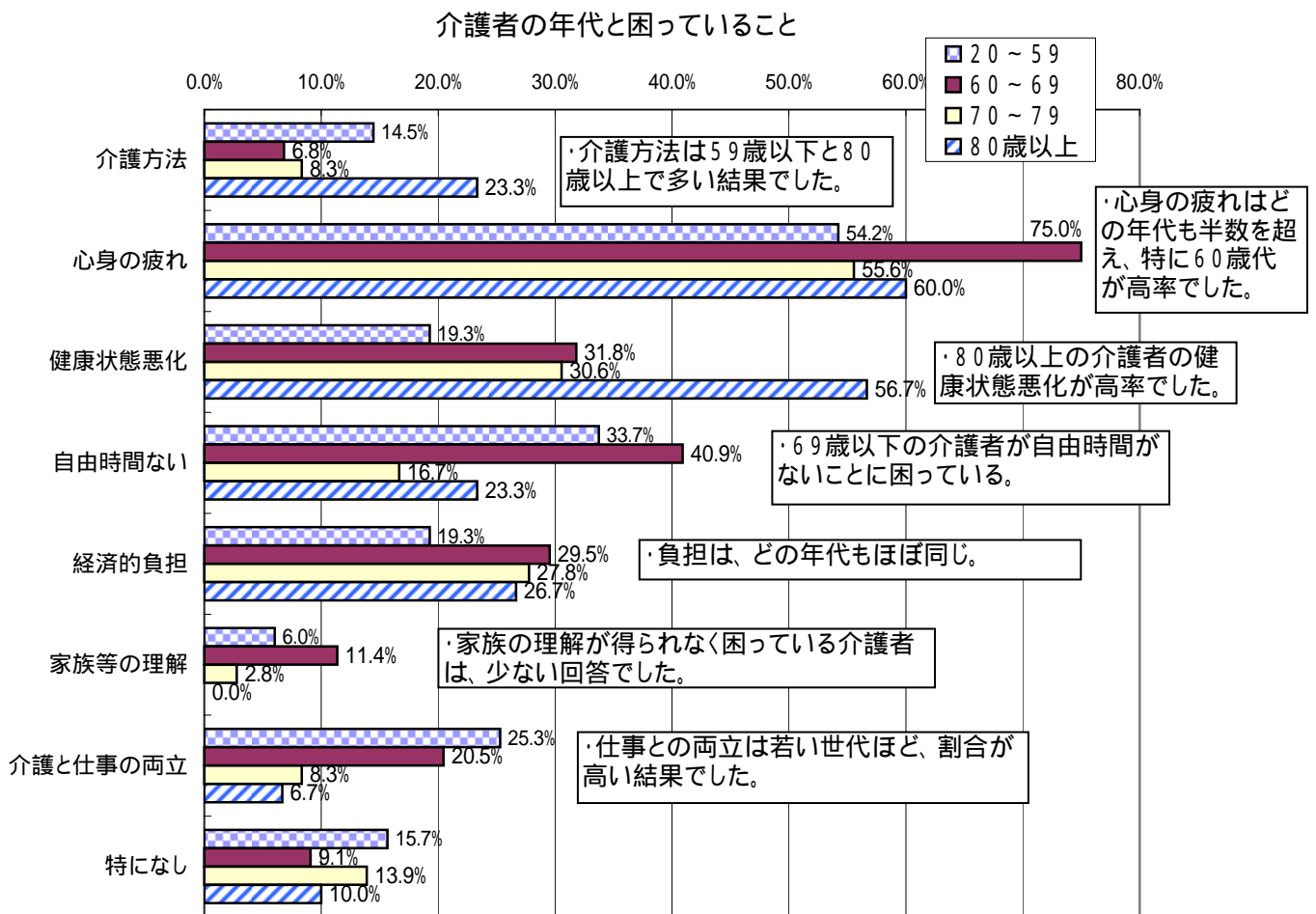
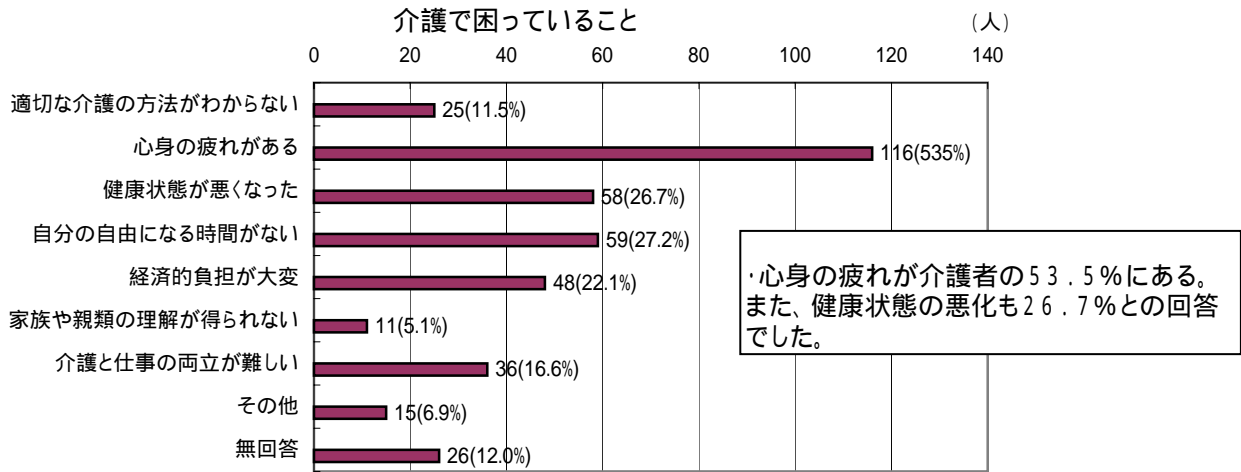


・病気で定期的に通院している介護者は99人45.6%と半数でした。

介護者の年代と健康状態



・介護者は高齢になるほど、健康な割合は少ない結果でした。



介護保険・高齢者保健福祉に関する調査票

以下の設問について、当てはまるものに をつけてください。

調査票に回答される方について、おたずねします。

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(該当するところに を)

- 1. 本人
- 2. 代理 家族・その他

あなた(あて名のご本人)のことをおたずねします。

問2 あなたの性別は。(どちらかに を)

- 1. 男性
- 2. 女性

問3 あなたの年齢はおいくつですか。(一つに を。平成20年9月1日現在)

- 1. 40～64歳
- 2. 65～69歳
- 3. 70～74歳
- 4. 75～79歳
- 5. 80～84歳
- 6. 85～89歳
- 7. 90歳以上

問4 あなたの家族構成はどれにあたりますか。(一つに を)

- 1. ひとり暮らし
- 2. 夫婦ふたり暮らし
- 3. 家族・親族と同居
- 4. その他()

問5 住んでいる地域はどこになりますか。(一つに を)

- 1. 北見自治区
- 2. 端野自治区
- 3. 常呂自治区
- 4. 留辺蘂自治区

問6 あなたの要介護状態区分等(介護度)についておたずねします。(一つに を)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5

日頃の生活について、おたずねします。

問7 現在はどちらで生活されていますか。

- 1. 自宅
- 2. 子ども等の家
- 3. 高齢者専用の住宅
- 4. 有料老人ホーム
- 5. 養護老人ホーム
- 6. 介護保険の施設
- 7. 入院中
- 8. その他()

問8 あなたを介護してくれる人はいますか。(一つに を)

- 1. いる
- 2. そういう人はいない
- 3. その他(まだ必要ないなど)

主な介護者はどなたですか。(一つに を)

- 1. 配偶者(夫・妻)
- 2. 同居の子ども
- 3. 別居の子ども
- 4. 同居の子どもの配偶者
- 5. 別居の子どもの配偶者
- 6. 親族
- 7. 友人・知人
- 8. ホームヘルパー
- 9. その他

問9 日常生活で困ること、心配なことや不安を感じていることは何ですか。

(いくつでも を)

- 1. 健康について不安である
- 2. 通院の交通手段
- 3. 金銭の出し入れなどの管理
- 4. 収入が少なく、経済的に不安
- 5. 食事の支度や掃除などの家事
- 6. 入浴
- 7. 身近に相談できる人がいない
- 8. 市役所での手続きなど
- 9. その他(具体的に:)
- 10. 特にない

問10 あなたが今後自宅で暮らしていくことで、障がいと感ずることはありますか。

(いくつでも を)

- 1. 介護してくれる人や、何かあったときに来てくれる人がいないこと
- 2. 家族による介護負担が大きいこと
- 3. 介護費用の負担が大きいこと
- 4. 段差が多いなど、住宅の不具合が多いこと
- 5. その他(具体的に:)
- 6. 特にない

介護保険制度及びサービスについて、おたずねします。

問11 あなたは、現在介護保険サービスを利用していますか。(一つに を)

- 1. 利用している.....問12へお進みください。
- 2. 利用していない.....問13へお進みください。

問12 「現在サービスを利用している」と答えた方におたずねします。

現在利用している介護保険サービスの内容・種類、事業所等に、ご希望などはありませんか。(一つに を)

- 1. ない
- 2. ある(具体的に:)

- 問13 「サービスを利用していない」と回答した方におたずねします。
 サービスを利用していない主な理由はなんですか。(一つに を)
1. まだサービスを利用しなくても生活できるから
 2. 病気で入院中だから
 3. 家族などに介護してもらっているから
 4. 介護保険以外のサービスを利用しているから
 5. 利用したいが、利用料の支払いが困難であるから
 6. 利用したいが、事業者または施設が予約でいっぱいであるから
 7. 利用したいが、サービスの利用方法がわからないから
 8. 過去には利用していたが、満足できるサービス内容でなかったから
 9. その他(具体的に:)

問14 介護保険のサービスについておたずねします。現在利用しているサービス、増やしたい、今後利用したいサービスをおたずねします。(いくつでも を)

介護保険サービスの種類	現在利用している	利用を増やしたい	今後利用したい
居宅療養管理指導：医師や歯科医師、薬剤師等が訪問し、療養するうえでの指導や助言を行うサービス			
福祉用具貸与：車イスや特殊寝台等の福祉用具を貸与(レンタル)するサービス			
福祉用具購入：ポータブルトイレや入浴用イス等の用具の購入費の一部を支給するサービス			
住宅改修：手すりや段差解消等の住宅改修の費用の一部を支給するサービス			
小規模多機能型居宅介護：通所したり、訪問介護を利用したり、泊まりのサービスを1箇所の事業所で利用するサービス			
特別養護老人ホーム：施設サービス計画に基づき、入浴、排せつ、食事等の日常生活の介護を行う施設			
介護老人保健施設：利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、日常生活動作のリハビリ等を行いながら、在宅生活復帰をめざす施設			
特定施設入居者生活介護：介護保険の指定を受けた老人ホームや軽費老人ホーム等に入居し、食事・入浴・排せつ等に関わる介護やリハビリを受ける施設			
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)：認知症高齢者が5～9人の少人数で、食事・入浴等の介護を受けながら、家庭的な雰囲気です日常生活をおくるホーム			

- 問15 今後、どこで介護を受けたいと思いますか。(一つに を)
1. 自宅
 2. 特別養護老人ホーム
 3. 老人保健施設
 4. 医療療養型医療施設
 5. 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)
 6. 養護老人ホーム
 7. 軽費老人ホーム・ケアハウス(介護利用型軽費老人ホーム)
 8. 高齢者向け下宿・住宅・マンション
 9. 有料老人ホーム
 10. その他()
 11. わからない

介護保険サービスの種類	現在利用している	利用を増やしたい	今後利用したい
訪問介護：ホームヘルパーが訪問し、身体の介護や生活の援助を行うサービス			
通所介護(デイサービス)：デイサービスに通所し、食事や入浴、健康チェック、体操、レクリエーション等を受けるサービス			
通所リハビリテーション(デイケア)：介護老人保健施設等に通所し、食事や入浴、健康チェック、リハビリ等を受けるサービス			
訪問入浴介護：家庭を訪問し、居室内に浴そうを運び込み、入浴をしていただくサービス			
訪問看護：看護師や保健師が訪問し、健康チェックや療養の世話・助言等を行うサービス			
訪問リハビリテーション：理学療法士等が訪問し、リハビリを行うサービス			

問16 介護保険料は、所得等に応じ6段階の保険料となっていますが、あなたの介護保険料段階は、どれになりますか。(一つに を)

【年額保険料】

	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
一つに を						
北見	20,000円	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円
端野	17,100円	17,100円	25,700円	34,300円	42,800円	51,400円
常呂	23,900円	23,900円	35,900円	47,900円	59,800円	71,800円
留辺蘂	17,700円	17,700円	26,600円	35,500円	44,300円	53,200円

問17 あなたの介護保険料について、どう思いますか。(一つに を)

1. 特に負担とは思わない
2. みんなで支える制度のため、これくらいの負担はやむをえないと思う
3. 負担であるが、なんとかやりくりできる
4. 現在の負担は苦しい、やりくりが難しい

家族等の主な介護者の方に、おたずねします。

問18 主な介護者の年齢はおいくつですか。(一つに を)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20～29歳 | 3. 30～39歳 |
| 4. 40～49歳 | 5. 50～59歳 | 6. 60～69歳 |
| 7. 70～79歳 | 8. 80～89歳 | 9. 90歳以上 |

問18 主な介護者の健康状態についておたずねします。(一つに を)

1. 健康である
2. 病気がちではあるが通院はしていない
3. 病気で定期的に通院している

問19 介護を行う上で困っていることは、どのようなことですか。(いくつでも を)

1. 適切な介護の方法がわからない
2. 心身の疲れがある
3. 腰痛など健康状態が悪くなった
4. 自分の自由になる時間がない
5. 経済的負担が大変
6. 家族や親類の理解が得られない
7. 介護と仕事の両立が難しい
8. その他(具体的に:)
9. 特にない

介護保険・高齢者保健福祉について、おたずねします。

問20 今後、在宅でサービス等を利用しながら生活をしていくためには、どんなことが必要ですか。

1. 特にない
2. ある(ご自由にお書きください。)

問21 北見市の介護保険・高齢者保健福祉に関して、ご希望・ご要望等をご自由にお書きください。

～ご協力ありがとうございました～

回答が終わりましたら、9月30日までに同封の返信用封筒に入れて、切手を貼

らずに郵便ポストに投函をお願いします。

～北見市介護福祉課～

『北見市における認知症の実態～要介護(要支援)認定者の分析から』

【概要】

高齢者の増加とともに要介護高齢者も増え、認知症者への支援が市町村にとって重要な課題であります。そこで、北見市には認知症の方が何人いるのか、どこで生活しているかなどの基礎データをまとめ、今後の認知症者支援の資料とすることとしました。

調査対象者：平成20年3月末現在の要介護(要支援)認定者

調査資料：要介護(要支援)認定調査票

【結果】

1. 認知症数及び発症率

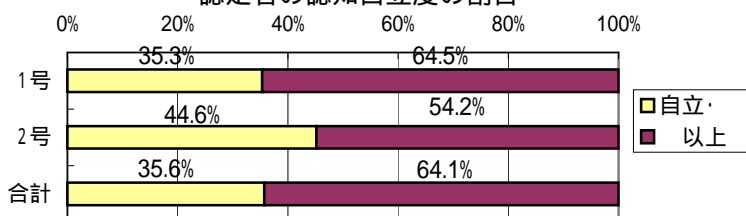
(平成20年3月末現在 総人口126,508人 高齢化率23.6%)

区分	要介護(要支援)認定者数	認知症高齢者の日常生活自立度判定基準における判定ランク									認知あり以上	65才以上人口	65才以上発症率
		自立	ランク	ランク a	ランク b	ランク a	ランク b	ランク	ランクM	ランク不明			
1号被保険者(65歳以上)	4,357	559 12.8%	977 22.4%	595 13.7%	947 21.7%	734 16.8%	203 4.7%	276 6.3%	54 1.2%	12	2,809 64.5%	29,877	9.4%
2号被保険者(40～64歳)	168	54 32.1%	21 12.5%	26 15.5%	24 14.3%	21 12.5%	3 1.8%	8 4.8%	9 5.4%	2	91 54.2%		
合計	4,525	613 13.5%	998 22.1%	621 13.7%	971 21.5%	755 16.7%	206 4.6%	284 6.3%	63 1.4%	14	2,900 64.1%		

	認知症自立度	
	以上	以上
65歳以上認知症高齢者	2,809	1,267
北見市発症率	9.4%	4.2%
国発症率(2010年推計)	7.2%	3.9%

・北見市で介護認定を受けている方のうち、認知症自立度が 以上の認知症者は、2,900人いました。うち、64歳以下の若年性認知症者は91人でした。
 ・65歳以上の認知症発症率は、 以上では9.4%で、国の推計発症率より高い率となっています。

認定者の認知自立度の割合

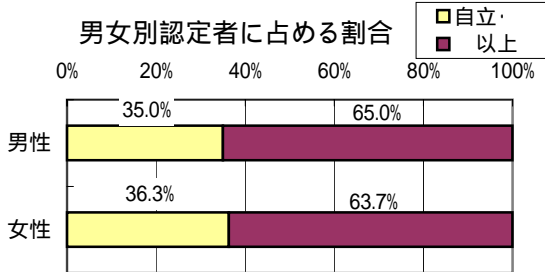
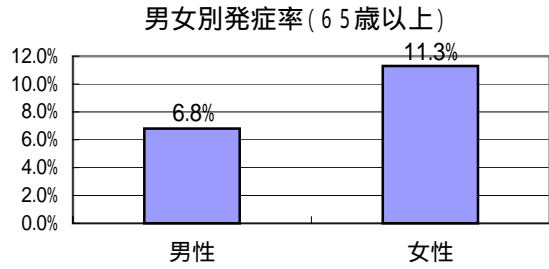


・認定者のうち認知症自立度が 以上の割合は、全体で64.1%で半数以上が何らかの認知面の低下があることがわかりました。

2. 男女別

区分	性別(人口)	認知症高齢者の日常生活自立度判定基準における判定ランク									合計	以上	発症率
		自立	ランク	ランク a	ランク b	ランク a	ランク b	ランク	ランクM	ランク不明			
1号被保険者(65歳以上)	男性	177 13.4%	272 20.6%	192 14.5%	314 23.8%	208 15.8%	61 4.6%	79 6%	14 1.1%	3	1,320	868 65.8%	6.8%
	女性	382 12.6%	705 23.2%	403 13.3%	633 20.8%	526 17.3%	142 4.7%	197 6.5%	40 1.3%	9	3,037	1,941 63.9%	11.3%
2号被保険者(40～64歳)	男性	27 30%	13 14.4%	15 16.7%	13 14.4%	13 14.4%	2 2.2%	4 4.4%	2 2.2%	1	90	49 54.4%	
	女性	27 34.6%	8 10.3%	11 14.1%	11 14.1%	8 10.3%	1 1.3%	4 5.1%	7 9%	1	78	42 53.8%	
合計	男性	204 14.5%	285 20.2%	207 14.7%	327 23.2%	221 15.7%	63 4.5%	83 5.9%	16 1.1%	4	1,410	917 65%	
	女性	409 13.1%	713 22.9%	414 13.3%	644 20.7%	534 17.1%	143 4.6%	201 6.5%	47 1.5%	10	3,115	1,983 63.7%	

性別	人数		認知症自立度	
	人数	割合	以上	以上
男性	917		383	
		65.0%	27.2%	
女性	1,983		925	
		63.7%	29.7%	
合計	2,900		1,308	
		64.1%	28.9%	



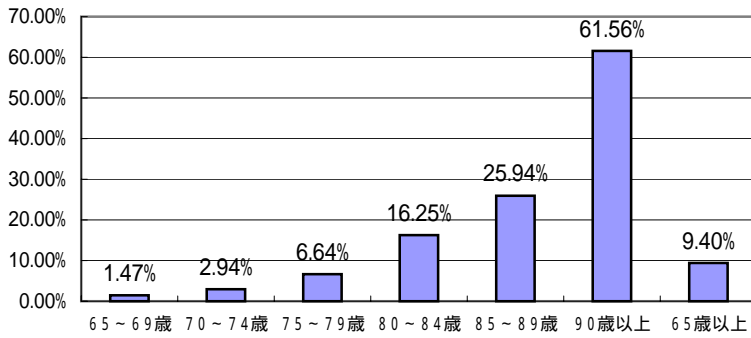
・65歳以上の男女別認知症発症率は、男性が6.8%、女性が11.3%と、女性の発症率が高くなっています。

・認定者に占める認知症自立度 以上の認知症者の割合は、男女の性別による差は見られていません。

3. 年齢別

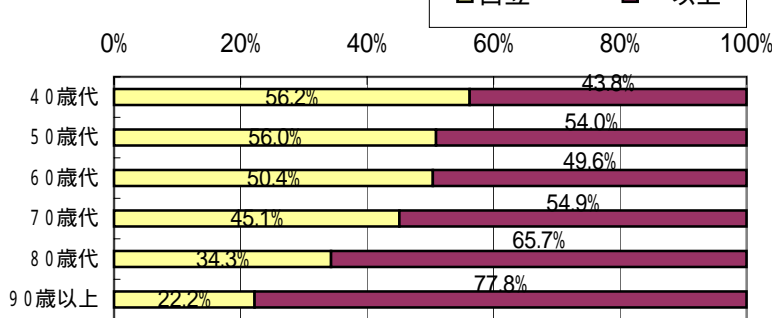
年齢	認知症高齢者の日常生活自立度判定基準における判定ランク										合計	以上	人口	発症率 /
	自立		a	b	a	b		M	ランク不明					
40~49	40~44	3	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	7,796	0.01%
		75%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	25%			25%		
	45~49	5	1	0	2	2	0	0	2	0	12	6	8,138	0.07%
		41.7%	8.3%	0%	16.7%	16.7%	0%	0%	16.7%			50%		
		8	1	0	2	2	0	0	3	0	16	7	15,934	0.04%
		50%	6.3%	0%	12.5%	12.5%	0%	0%	18.8%			43.8%		
50~59	50~54	5	1	0	2	2	0	0	2	0	12	6	8,377	0.07%
		41.7%	8.3%	0%	16.7%	16.7%	0%	0%	16.7%			50%		
	55~59	18	4	11	7	6	1	2	1	1	51	28	11,175	0.25%
		35.3%	7.8%	21.6%	13.7%	11.8%	2%	3.9%	2%			54.9%		
		23	5	11	9	8	1	2	3	1	63	34	19,552	0.17%
		36.5%	7.9%	17.5%	14.3%	12.7%	1.6%	3.2%	4.8%			54%		
60~69	60~64	24	10	14	13	12	1	5	5	1	85	50	9,071	0.55%
		28.2%	11.8%	16.5%	15.3%	14.1%	1.2%	5.9%	5.9%			58.8%		
	65~69	80	59	33	45	27	0	13	4	1	262	122	8,313	1.47%
		30.5%	22.5%	12.6%	17.2%	10.3%	0%	5%	1.5%			46.6%		
		104	69	47	58	39	1	18	9	2	347	172	17,384	0.99%
		30%	19.9%	13.5%	16.7%	11.2%	0.3%	5.2%	2.6%			49.6%		
70~79	70~74	92	122	58	86	52	9	18	3	2	442	226	7,682	2.94%
		20.8%	27.6%	13.1%	19.5%	11.8%	2%	4.1%	0.7%			51.1%		
	75~79	120	186	101	130	101	27	43	8	1	717	410	6,176	6.64%
		16.7%	25.9%	14.1%	18.1%	14.1%	3.8%	6%	1.1%			57.2%		
		212	308	159	216	153	36	61	11	3	1,159	636	13,858	4.59%
		18.3%	26.6%	13.7%	18.6%	13.2%	3.1%	5.3%	0.9%			54.9%		
80~89	80~84	143	270	138	243	168	42	70	16	3	1,093	677	4,167	16.25%
		13.1%	24.7%	12.6%	22.2%	15.4%	3.8%	6.4%	1.5%			61.9%		
	85~90	72	172	138	189	157	49	48	5	0	830	586	2,259	25.94%
		8.7%	20.7%	16.6%	22.8%	18.9%	5.9%	5.8%	0.6%			70.6%		
		215	442	276	432	325	91	118	21	3	1,923	1,263	6,426	19.65%
		11.2%	23%	14.4%	22.5%	16.9%	4.7%	6.1%	1.1%			65.7%		
90~		52	168	127	254	229	76	84	18	5	1,013	788	1,280	61.56%
		5.1%	16.6%	12.5%	25.1%	22.6%	7.5%	8.3%	1.8%			77.8%		

年代別発症率



・年代別で発症率を見ると、65歳以上全体では9.4%ですが、加齢と共に上昇し、85歳～89歳では4人に1人、90歳以上では6割の方に認知症が見られます。

年代別認定者に占める割合

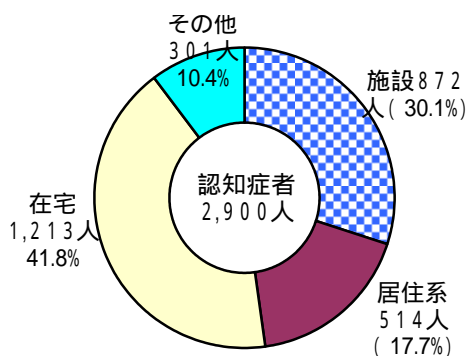


・認定者に占める認知症自立度以上の認知症の割合は、40歳代の43.8%から加齢と共に上昇し、90歳以上では77.8%と約8割になっています。

4. 生活(介護)の場

		自立	ランク	ランク a	ランク b	ランク a	ランク b	ランク	ランクM	ランク不明	合計	以上	人数	割合
施設系	特別養護老人ホーム	22	39	44	98	169	68	104	7	0	551	490	872	30.1%
	老人保健施設	4%	7.1%	8%	17.8%	30.7%	12.3%	18.9%	1.3%	0	250	221		
	介護療養型医療施設	9	20	27	91	59	29	14	1	0	170	161		
居住系	特定施設	2	7	8	25	39	11	46	32	0	178	126	514	17.7%
	グループホーム	12.4%	16.9%	18%	23%	20.8%	2.2%	6.7%	0%	0	410	388		
在宅		0.2%	3.7%	7.3%	31.7%	37.1%	8.5%	9.5%	0.5%	6	2,405	1,213	1,213	41.8%
		19.7%	29.7%	16.7%	20.5%	9.9%	1.5%	1.5%	0.2%	3	2,405	1,213		
その他	入院中	10	30	23	46	45	20	27	12	1	214	173	301	10.4%
	利用なし、未届等	4.7%	14%	10.7%	21.5%	21%	9.3%	12.6%	5.6%	4	347	128		
		21%	40.9%	16.1%	13.3%	4.3%	0.9%	1.4%	0.9%		4,525	2,900	2,900	

生活(介護)の場



・認定を受けている認知症者の生活の場は、在宅が41.8%、1,213人と多く、次いで施設が30.1%、872人、居住系が17.7%、514人であることがわかりました。

・生活の場別に認知症自立度のランク割合を見ると、介護療養型・特別養護老人ホームがランク 1 の重症な者が多く、居住系はランク 2、在宅ではランク 3 が多い割合でした。

・認知症が重症になると在宅介護は難しく、施設系での介護へ移行していると思われます。

・このように、地域では多くの認知症の方が生活されており、地域の方々の理解や支えが重要となります。

事業者アンケート『医療的処置・管理が必要な要介護者等の状況』

(平成20年9月1日現在)

生活の場別人数

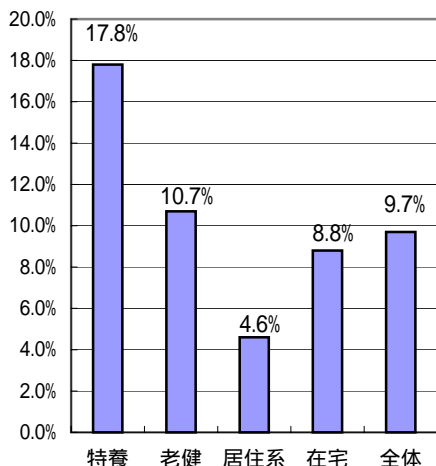
(人)

事業所種別		回答事業所の利用数	医療系実人数	胃ろう	経鼻栄養	吸引	留置バルンカテーテル	インスリン	在宅酸素	人工透析	ストーマ
施設系	特別養護老人ホーム	568	101	52	6	11	19	13	2	8	4
	老人保健施設	242	26	4	4	5	7	8	1	2	1
居住系	認知症グループホーム	521	24	1	0	0	4	8	4	3	6
	特定施設入居者生活介護										
在宅		2,531	223	14	5	15	27	68	37	58	19
合計		3,862	374	71	15	31	57	97	44	71	30

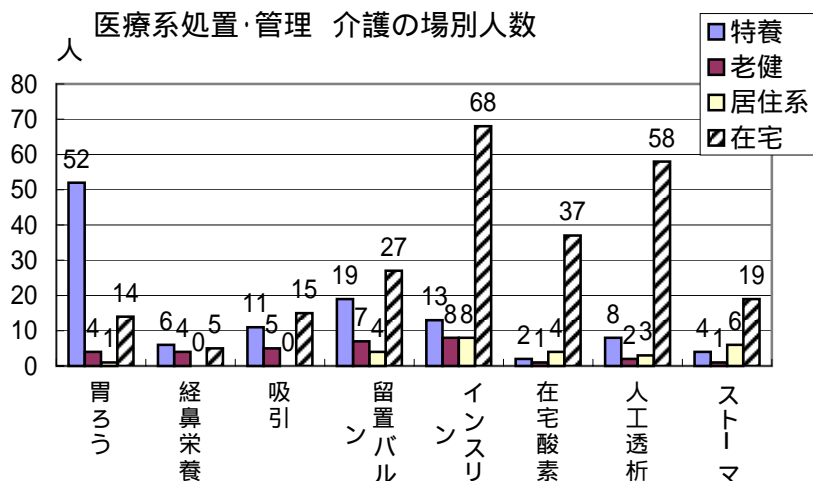
利用数に対する割合

事業所種別		利用数	医療系実人数	胃ろう	経鼻栄養	吸引	留置バルンカテーテル	インスリン	在宅酸素	人工透析	ストーマ
施設系	特別養護老人ホーム	568	17.8%	9.2%	1.1%	1.9%	3.3%	2.3%	0.4%	1.4%	0.7%
	老人保健施設	242	10.7%	1.7%	1.7%	2.1%	2.9%	3.3%	0.4%	0.8%	0.4%
居住系	認知症グループホーム	521	4.6%	0.2%	0.0%	0.0%	0.8%	1.5%	0.8%	0.6%	1.2%
	特定施設入居者生活介護										
在宅		2,531	8.8%	0.6%	0.2%	0.6%	1.1%	2.7%	1.5%	2.3%	0.8%
合計		3,862	9.7%	1.8%	0.4%	0.8%	1.5%	2.5%	1.1%	1.8%	0.8%

医療系実人数 介護の場別割合



医療系処置・管理 介護の場別人数



- ・医療系処置・管理が必要な方は、3862人中374人で全体の9.7%であった。(療養型医療施設を除く)
- ・医療系処置・管理が必要なケースの受け入れ割合は、老人保健施設10.7%、特別養護老人ホームは17.8%で特別養護老人ホームが割合が高かった。
- ・在宅では、インスリン・人工透析・在宅酸素等の方が多くいることが分かった。現在、短期入所や通所介護などの受け入れ先を探すことが難しい状況もあるが、今後、在宅での介護が困難になった場合、施設系・居住系での受け入れがないと介護を受け生活することが困難になってくることが予想される。

日常生活圏域

